

皆さん こんにちは  
12番 社民党 藤田誠でございます。  
まず、質問の前に所見・要望を述べます。

今、議会改革の一環として、大矢議長を筆頭に議会改革検討委員会が  
取り組んでいる、議場のICT化・タブレットを活用した議会運営につ  
いて、八戸市に先んじられた、悔しい思いをしながら 要望を申し上げ  
ます。

私は平成24年2月に神奈川県海老名市の会議でのタブレット端末利  
用状況を視察してきました。その当時は、地球温暖化対策としての紙の  
削減を目標としたタブレット端末利用が始まったばかりで、議会での利  
活にはまだまだ課題があると認識をしました。

今年、滋賀県大津市議会でのICT化を視察し、議員・行政側・議会事  
務局・市民等、への利点が多く見受けられました。  
機は熟しました、今後は議会改革検討委員会で議論を重ね、市に対し  
ての予算要求があると思えます。  
その際に、考慮すべき事は実施経費が多いとの非難によって、中途半  
端なシステムが導入されることです。  
大津市では、他都市に先駆けて取り組んだため、経費が高いと批判を  
受けましたが、充分財政面でも多方面でも効果があったと聞きました。  
先駆けて開発する初期より、その後の導入経費は節減できますので、  
是非とも、最適な機器及びシステムを導入して頂くことをお願いいたし  
ます。

次に、行財政改革2016の骨子についての要望です。

2016プランでは、引き続き、人材育成に取り組むとしていること  
に、それなりに評価をしています。

今後、2011プランの総括がなされ、2016プランでの人材育成  
をどのように実践していくのか、期待をしています。

行財政改革を進める上で、常に考えるべきは誰のために、何のために、  
改革を行うかであって、例えば、下水道処理施設の業務委託の検討状況  
についても、コスト低減が主たる目的だとすれば、回り回って将来負担  
が生ずる可能性が高くなる事が想定されます。

市民のためになる行財政改革を継続して行くためには、人材の育成と  
若手への技術の継承等、職員の採用・退職を大局的に見ながら進めな  
ければなりません。

職員の採用についても、市役所以外の経験の少ない人ばかりではなく、  
他企業の経験者で中堅層の採用も考えていかなければ、そのうちに、企  
業の言いなりに事業費を支出しなくてはならなくなる恐れがあります。

どうぞ、今が良ければではなく、将来を見据えて起案をして頂くよう  
お願いをします。

次に、アウガへの情報コーナー機能を開設する予算が計上され、昨日  
の館山議員への答弁で、印鑑証明の発行事務を初めとする法務・税務事  
務を、土曜日の本庁の窓口を閉鎖して、アウガで土・日・祝祭日の窓口  
を開設する計画だと、初め聞きました。市長が初当選されて、すぐ、市  
民課窓口の土・日・祝祭日開設に向けての労使交渉が行われ、実施した

経過もあり、館山議員への答弁にあった、日・祝祭日の来場者予想についても実績があり、推計はできるはずです。

市職員の土・日・祝祭日の勤務条件の変更にも関わらず、これまで、職員団体には一切申し入れがなかったと聞きました。

前市長時代、労使交渉課題に関わる事について、すべて事前に申し入れがあり、そして、名称が交渉課題に似ていて、誤解が生ずる恐れのあるものでも、遅くとも代表者会議前に、通知、説明がされていきました。

今回は自動交付機の設置ではなく、窓口の大幅な変更だとは、露にも思いませんでした、非常に遺憾であり、残念です。

こんな気持ちで本題に入るのは、不本意ですが、切り替えて、通告に従い、一問一答での一般質問いたします。

最初に、公共サインについてです。

この質問にあたって、市全般にわたる事案でもあり、多くの担当部署に尽力を頂きまして質問が出来ることになりました。この場を借りまして、お礼申し上げます。

さて、大変喜ばしいことですが、最近、多くの外国人を初めとする観光客が観光地凶だと思いたすが、手にして、中心市街地を散策しています。

大型客船が沖館埠頭に着岸すると、埠頭周辺のスーパーが外人さんで一杯になってます。

青森市において、案内用図記号、洋語でピクトグラフ、男性・女性のトイレの表示板ですが、県も旧青森、浪岡地区それぞれ微妙に違います。

このような公共的な標記について、青森市はどう考えているのか、長野市では、案内サインや誘導サインなどの公共サイン整備に当たっての指針となる「長野市公共サインガイドライン」を策定していますが、青森市としても統一的な指針となるガイドラインを策定する必要があると考えます。

そこで2点質問します。

一つに、観光振興を目的とした公共サインのこれまでの取組についてお示し下さい。

二つ目に、公共サインについて市統一的なガイドラインの策定が必要と思いたすが、市の考えをお示し下さい。

次に水難事故対策についてです。

まず初めに、長崎、山口両県の沖合でイカ釣り漁船が竜巻と思われる突風によって計6隻が相次いで転覆する海難事故が発生しました。

亡くなられた4人の方々に哀悼の意を表し、お二人の行方不明の方のご無事をお祈り申し上げます。

今年も全国各地で水難・死亡事故が発生しています。

特に今年、シュウノーケルの死亡事故が多発しているようです。

いくら、救命胴衣の装着や注意を促しても事故が発生しています。

なぜ、この質問かと言え、私の弟が私が4歳の時に川に落ちて亡くなっている、盆中、全国各地での水難死亡事故の報道があり、青森市が

らは出したくないなどの想いで、質問することにしました。

この質問も、市全体に関わる質問で、いろいろな部署に関わることから、一つに絞って、私の自宅近くの河川を例に質問します。

この質問も、市全体に関わる質問で、いろいろな部署に関わることから、一つに絞って、私の自宅近くの河川を例に質問します。

沖館川河口のような住宅街を流れる2級河川の水難事故防止対策をお示し下さい。

次の質問は、青森駅周辺整備推進事業について です

前回の定例会でも質問し、市長の考えをお聞きしました。

青森駅周辺整備推進事業についての市長の判断に対し、多種多様な意見が寄せられています。

私への答弁で経過説明を市長が述べられましたが、残念ながら理解が薄いようで、マスコミのように、市長の考えにブレがあると多くの市民は感じているようです。

アウガについても良く聞かれますが、これまで経済界の方が中心になって経営がなされ、再建できなかった経過を見れば、全く違う体制ですので、鳶が鷹を生むのではと、私は答弁しています。

アウガ再生への壁を乗り越えるには、駅前再開発がなぜ遅れたか、そして、急転一部再開発が動き、アウガの建設が進んだか、歴史を振り返り、壁を崩さなければ、ほんとの意味の再スタートはできないと思います。

青森駅周辺整備推進事業の現在の状況について、市民の皆さんの関心も薄れてきたようですが、進み具合をたまに聞かれます。その問いに答えるために、質問しようとしたが、他の議員の質問に都市整備部長の明快な答弁をありましたので、答弁はいりません。

最後の質問は家庭の訪問調査について

なぜ、この質問か、疑問に思われると思います。

この質問を思い立ったのは、大阪の地域課警察官による殺害事件や消防職員の自宅侵入事件等、家庭訪問に接点がある事案が発生しているからです。

家庭訪問に一人で行けば、相手から誤解を受ける可能性もあり、これらの事件を少しでも減らし、被害者を出さないために、どうすれば良いか考えました。

これも、各部に関わることなのですが、一部署に絞って質問します。

消防本部では災害時要援護者の世帯を訪問し、防火指導を行っているようですが、どのようにしているのかお示し下さい。

以上、壇上からの一般質問を終わります。

ご静聴 ありがとうございます。